

令和5年度事業計画(音楽)

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益目的事業3(顕彰事業)

1. 「第54回サントリー音楽賞」「第22回佐治敬三賞」(2022年度)の贈賞

令和5年2月12日(日)(佐治敬三賞)・3月12日(日)(音楽賞)選考会で選定、
3月27日(月)理事会にて決定後、日程調整し、贈賞式を開催する。

2. 「第55回サントリー音楽賞」の選定

- ア. 対象 令和5年1月1日から12月31日までの1年間に、わが国の洋楽の発展に最も
顕著な功績のあった個人または団体
- イ. 賞 賞状、賞金(700万円)
- ウ. 選考 令和6年1月 候補者選考会
令和6年3月 受賞者選考会
- エ. 贈賞 受賞者決定後に調整のうえ贈賞式を(令和6年度に)開催

3. 「第23回佐治敬三賞」の選定

- ア. 対象 令和5年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの
- イ. 賞 賞状、賞金(200万円)
- ウ. 公募 令和5年上期実施公演：令和4年9～10月に応募を受付済み
同 下期実施公演：令和5年3～4月に応募受付
- エ. 選考 応募公演について公演視察を実施
令和6年2月 選考会
- オ. 贈賞 スケジュール調整のうえ音楽賞と同時に令和6年度開催

4. 「第24回佐治敬三賞の募集」

- ア. 対象 令和6年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの
- イ. 公募 令和6年上期実施公演：令和5年9～10月に応募を受付
(同下期実施公演：令和6年3～4月に応募受付)

5. 第33回「芥川也寸志サントリー作曲賞」の選考、決定、贈賞

2019年の財団50周年を機に第29回から、芥川也寸志氏にちなんだ賞であること、サントリー
芸術財団の将来にわたるコミットメントをより明確にするため賞名を変更し、作曲家への支援を

強化するために賞金を 150 万円に増額した。

本年度は 2022 年に初演された新進作曲家の管弦楽作品の中で最も清新かつ豊かな将来性を内包する作品を選定する。最終選考は公開の場で行う。

ア. 第 1 次選考会

令和 5 年 3 月 8 日（水）に開催し、第 33 回芥川也寸志サントリー作曲賞の選考対象となる日本人作曲家の交響管弦楽曲（2022 年 1 月から 12 月の間に国内外で初演）候補作品について譜面および録音による選考を行い、候補作品数曲を選出する。

イ. 第 3 3 回「芥川也寸志サントリー作曲賞」選考演奏会

8 月 26 日（土） 15：00～、サントリーホール大ホール

サマーフェスティバルの一環として開催。第 31 回受賞記念委嘱の桑原ゆう氏作品を初演したのち、候補作品を演奏し、演奏終了後、3 人の選考委員が公開による選考を行って 1 曲を選定し、第 33 回「芥川也寸志サントリー作曲賞」（150 万円）を贈賞する。選考会司会は白石美雪氏。なお、受賞作曲家には新作を委嘱（委嘱料 100 万円）し、完成後、当財団主催の演奏会で初演する。

公益目的事業 4（助成事業）

1. 佐治敬三賞推薦コンサート活動

2019 年の財団 50 周年を機に、意欲的でチャレンジングな佐治敬三賞応募公演の中から、一部を紹介し、実際に聴いてもらう機会を提供するために、佐治敬三賞推薦コンサートとして選定、チケットプレゼントを行っている。

令和 5 年度は、第 23 回佐治敬三賞三応募公演のうち令和 5 年 4～12 月開催公演および第 24 回の一部（令和 6 年 1～3 月開催分）の推薦されたコンサートを、ホームページ、新聞などで告知し、抽選で招待する。年間 20 公演程度を推薦する。

2. 「第 10 回サントリー芸術財団名器特別賞」として楽器を貸与

世界的文化遺産である弦楽器名器を保全し次世代に継承するとともに、若手音楽家の育成、クラシック音楽の発展に貢献することを目的に、第 10 回「サントリー芸術財団名器特別賞」受賞者を選定する。

「第 77 回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門中学校の部・高校の部」（主催：毎日新聞社）において選定委員が受賞者および推奨楽器を決定し、財団所有バイオリンを無償で 3 年間貸与する。

全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 中学校の部 12 月 3 日（日）

同 高校の部 12 月 4 日（月）

会場：横浜みなとみらいホール

3. 演奏家向け楽器貸与

ア. 貸与楽器および貸与者（継続）

平成 30 年貸与決定者への楽器貸与を継続。貸与期間は 5 年間とし、令和 4 年度末までの予定であったが、延長の希望があったため 1 年間の延長を行う。

①ANTONIO STRADIVARI（1727 年製作 バイオリン）－米元 響子

②PAOLO ANTONIO TESTORE（1728 年製作 ヴィオラ）－田原 綾子

イ. 新規貸与

以下の楽器について新型コロナ感染状況を見ながら、貸与希望者の募集を再開、選考のうえ貸与を開始する。

①PIETRO GIACOMO ROGERI（1710 年製作 チェロ）

4. その他の助成

ア. 活動助成

- （1）音楽文献目録委員会 音楽文献目録出版に対して
- （2）日本作曲家協議会 日本人作曲家の楽譜出版に対して

イ. 運営助成

- （1）日本作曲家協議会
- （2）日本現代音楽協会
- （3）日本演奏連盟

公益目的事業 5（出版事業）

ア. 「日本の作曲 2020-2021」の刊行

50 周年記念出版「日本の作曲 2010-2019」の続編として、これまでの 10 年ごとであった制作を 2 年ごとに変更。よりタイムリーに直近 2 年間の日本の作曲界の状況、果実をレビューし、発行する。令和 4 年度に発行予定であったが、コロナの影響により発行を 1 年後ろ倒しする。

以 上